

グループワーク ①

子育てと仕事の両立支援を進めるために、どんな工夫やアイデアがあるか話し合しましょう

1. 子育て支援に関する意見

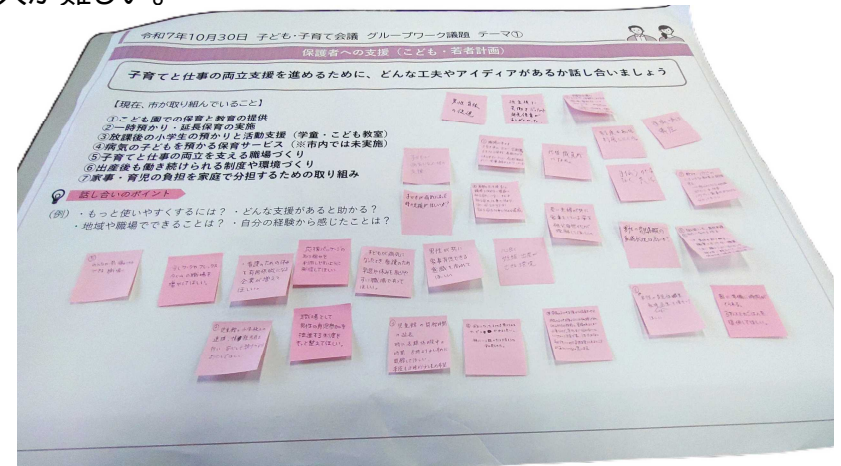
- ・延長保育は共働き家庭にとって非常に助かる。
- ・病気の子どもを預けられる「病児保育」サービスの充実が望まれる。
- ・祖父母も働いている家庭が増えており、祖父母向けの育児支援制度が必要。
- ・児童館と小学校の連携・情報共有を強化し、安心して預けられる体制を整えてほしい。
- ・長期休暇中の児童館の開館時間を朝・夕ともに延長してほしい。
- ・新米ママ・パパ向けの教室を開催し、参加者には地域ポイントを付与する仕組みがあるとよい。
- ・応援パッケージの取り組みを、より分かりやすく発信して利用しやすくしてほしい。

2. 働き方・職場環境に関する意見

- ・職場で早く帰れる雰囲気づくりや、学校行事・受診時の声かけを行っている。
- ・制度があっても職場の目が気になり利用しづらい。
- ・休みは制度上可能でも、無給であったり代替職員がいないため実質的に取得しづらい。
- ・テレワークやフレックスタイム制の職場を増やしてほしい。
- ・コロナ禍でテレワークは進んだが、地方都市では設備が整っておらず導入が難しい。
- ・事務職はテレワーク可能でも、現場職では難しいという課題がある。
- ・復職の壁が高く、復職支援のための勉強会や講座の設置が望まれる。

3. 男女共同参画・意識改革に関する意見

- ・男性の育児休業取得を促進してほしい。
- ・職場として男性の育児参加を推進する制度整備が必要。
- ・男性が「手伝う」のではなく「共に行う」育児意識の醸成が重要。
- ・若い夫婦が共に家事育児をする姿を、祖父母世代にも理解してもらえるよう啓発してほしい



グループワーク②

障がいのある子どもや特別な配慮が必要な子どもへの支援についてどんな工夫やアイデアがあるか話し合しましょう

1. 保育・教育現場での支援体制

- ・保育士から保護者への説明が負担になっている
- ・インクルーシブ保育に関する研修を増やしてほしい
- ・保育園に専門担当職員を配置し、対応力を高めてほしい
- ・巡回相談は非常にありがたい(子どもの様子を直接見てもらえることで、関わり方やクラス運営への具体的な助言が得られる)
- ・発達について、保護者から情報を得やすくなっている

2. 医療・診断・検診に関する支援

- ・早期診断につなげるための意識づけが必要
- ・発達の相談や子どものことを話せる場が必要
- ・幼児健診は午前中に実施してほしい(午後はお昼寝の時間になり、こどもがぐずり本来の姿を見ることができない)
- ・発達障害だけでなく、目に見えない身体への発達にも着目した検診が幼児期にあるとよい
- ・4・5歳児健診の導入を希望
- ・ブロッサムジュニアのような専門機関を増やしてほしい
- ・医療的ケア児への支援を充実させるとともに、保護者の悩み相談や支援サービスも必要

3. 就学・学校環境に関する意見

- ・小学校から中学校への進学時には細かな引継ぎ・申し送りをお願いしたい
- ・学校改修の際にはエレベーターの設置が必須になっている
- ・身体に障がいがあっても普通学校に通わせたいという希望がある
- ・身体障がい児向けの活動の場を整備してほしい

4. 保護者・家庭への支援

- ・通院等に対応できる休みやすい職場環境の整備が必要
- ・介護休暇が子どもにも利用できることを広く周知してほしい
- ・子どもを取り巻く各機関のさらなる連携が必要

